

機械器具 32 医療用吸引器
一般医療機器 吸引器用キャニスタ 34858000

セレス吸引システム 凝固材ユニット

再使用禁止

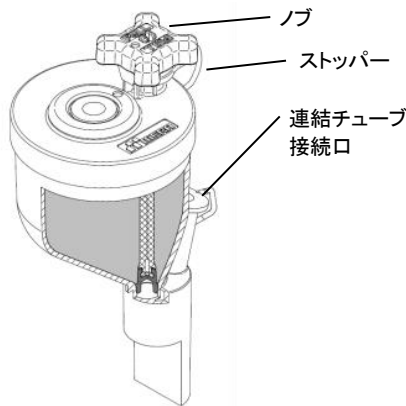
【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止。

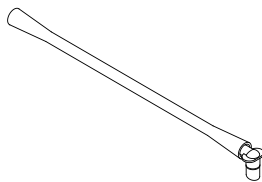
【形状・構造及び原理等】

各部の名称

1. 凝固材ユニット



2. 凝固材ユニット専用連結チューブ



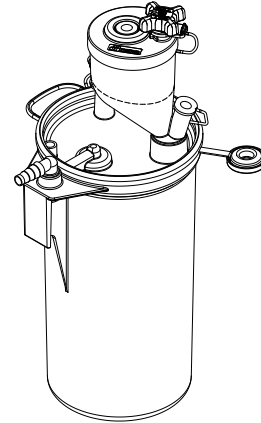
【使用目的又は効果】

陰圧により排液(血液、体液、外科手術で使用される洗浄液等)を吸引し、貯留すること。

【使用方法等】

1. 吸引バッグの多目的ポートの蓋を開け、凝固材ユニットを連結チューブ接続口の根元まで接続する。
2. 連結システムで使用する場合は最後尾以外の凝固材ユニットの連結チューブ接続口に装着されているキャップを外し、凝固材ユニット専用連結チューブを接続する。
3. 接続したチューブを次の吸引バッグの吸引用 L 字型コネクタに接続し、吸引を開始する。
4. 吸引終了後は吸引がONの状態のまま、吸引バッグから凝固材ユニット専用連結チューブと吸引用L字型コネクタを取り外し、バッグの蓋に備え付けの栓で吸引バッグの吸引口を密閉する。凝固材ユニットは連結チューブ接続口を備え付けの栓で密閉する。ノブ下のストッパーを外し、ノブを上へ引き上げ凝固材を吸引バッグに投入する。投入後もノブとストッパーは元に戻さなくて良い。
5. 排液が固形化したことを確認し、吸引バッグごと吸引キャニスタから取り出し廃棄処分する。
6. 本品は単回使用である。使用後は、吸引バッグ、吸引管等とともに廃棄処分する。

図 1: 凝固材ユニットの取り付け



【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 必ず吸引をONの状態のまま(吸引源に接続したまま)、吸引用配管(吸引用L字型コネクタ、吸引管、吸引バッグ連結チューブ・青コネクタ付、凝固材ユニット専用連結チューブ)の取り外しと凝固材の注入、吸引バッグの密閉処理を行うこと。[排液が吸引バッグのオーバーフローフィルターに接触すると自動的に吸引が停止するが稀に排液が吸引バッグの蓋の裏側まで達し、吸引バッグが排液で完全に満杯になる場合がある。吸引バッグを密閉処理する前に、吸引源をOFF(吸引源から切断)にし、多目的ポートを開けると吸引バッグが吸引キャニスタの中で大気圧に押されて縮み、吸引した排液が吸引口や多目的ポートから逆流する可能性がある]

【保管方法及び有効期間等】

保管の条件

1. 湿気やほこり、塵のある場所を避け、常温で保管すること。
2. 水漏れ、ほこり、高温、多湿、直射日光にあたる場所、振動の激しい場所、凍結する場所などは避けること。
3. 直射日光を避け、水に濡れないように保管すること。

有効期間

包装箱に記載。[自己認証(当社データ)による]

凝固材ユニットは2年

使用期間

24時間を越えて凝固材ユニット専用連結チューブを連続使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者及び製造業者

泉工医科工業株式会社

製造業者

メラセンコー コーポレーション

(MERASENKO CORPORATION)

国名: フィリピン

製造業者

セレス株式会社

(SERRES Oy)

国名: フィンランド

お問い合わせ先

泉工医科工業株式会社 商品企画

TEL 03-3812-3254 FAX 03-3815-7011